

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

和歌山県知事 殿

## 提出者

住 所 和歌山県岩出市根来480番

氏 名 株式会社崎山組 代表取締役崎山彰久

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0736-62-7000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物

処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社崎山組
事業場の所在地	和歌山県岩出市根来480番
事業の種類	総合建設業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

## 産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,320t	全処理委託量	2,320t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	2,320t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥(水銀廻避除く))



不需要物等発生量

有償物量

排出量

項目 実績値  
①排出量 20.8

自ら中間処理した量  
④ 0

項目 実績値  
②+⑧自ら再生利用を行った量 0

自ら中間処理した量  
⑥ 0

項目 実績値  
③自ら熱回収を行った量 0

自ら中間処理により減量した量  
⑦ 0

項目 実績値  
⑤自ら埋立処分を行った量 0

自ら中間処理により減量した量  
⑧ 0

項目 実績値  
⑦自ら中間処理により減量した量 0

自ら中間処理により減量した量  
⑨ 0

項目 実績値  
⑨自ら埋立処分を行った量 0

自ら中間処理により減量した量  
⑩ 0

項目 実績値  
⑩今処理委託量 0

自ら中間処理により減量した量  
⑪ 0

項目 実績値  
⑪令和5年4月1日から令和6年3月31日まで 0

自ら中間処理により減量した量  
⑫ 0

項目 実績値  
⑫再生利用業者への処理委託量 20.8

自ら中間処理により減量した量  
⑬ 0

項目 実績値  
⑬熱回収認定業者への処理委託量 0

自ら中間処理により減量した量  
⑭ 0

項目 実績値  
⑭熱回収を行つ業者への処理委託量 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量  
③ 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量  
② 0

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑧ 0

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑨ 0

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑩ 0

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑪ 0

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑫ 0

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑬ 0

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑭ 0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ 20.8

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬ 0

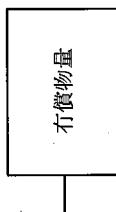
⑪のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量  
⑭ 0

⑩のうち優良認定處理業者への処理委託量  
⑪ 0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類 )



不要物等発生量

有償物量

自ら直接  
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量

③

排出量

①

項目 実績値

①排出量 10.08

自ら中間処理  
した量

④

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量

⑧

⑪のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫

④のうち熱回収  
を行った量

⑤

自ら中間処理によ  
り減量した量

⑥

⑪のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬

⑪のうち熱回収認定  
業者以外の  
熱回収を行う業者  
への処理委託量

⑭

直接及び自ら  
中間処理した後の  
処理委託量

⑩

⑪のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑮

⑪のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑯

⑪のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑰

⑪のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑲

②自ら再生利用を  
行つた量

⑨

③自ら熱回収を行つた量

⑩

⑦自ら中間処理によ  
り減量した量

⑪

③自ら埋立処分又は  
海洋投入処分を行つた量

⑫

⑪のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑬

⑪のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑭

⑪のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑮

⑪のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑯

⑪のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑰

⑪のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑲

(第2面)

## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:コンクリート片)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接  
再生利用した量  
0排出量  
489.18自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
0項目  
実績値  
489.18自ら中間処理  
した量  
0④のうち熱回収  
を行った量  
0⑫のうち再生利用  
業者への処理委託量  
0

489.18

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
0自ら中間処理した  
後の残さ量  
0自ら中間処理によ  
り減量した量  
0⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量  
0

0

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分した量  
0⑪のうち熱回収認定  
業者への処理委託量  
0②⑧自ら再生利用を行  
った量  
0⑬のうち熱回収認定  
業者への処理委託量  
0自ら中間処理した後  
自ら埋立処分した量  
0⑭のうち熱回収認定  
業者への処理委託量  
0自ら中間処理した後  
自ら埋立処分した量  
0⑮のうち熱回収認定  
業者への処理委託量  
0自ら中間処理した後  
自ら埋立処分した量  
0⑯のうち熱回収認定  
業者への処理委託量  
0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アスファルト)

不要物等発生量	有償物量

項目	実績値
①排出量	2796.29
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
④自ら中間処理した量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑥自ら中間処理により減量した量	0
⑦自ら直接埋立処分を行った量	0
⑧自ら再生利用を行った量	0
⑨自ら直接埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩処理委託量	0
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで	0
⑪再生利用業者への処理委託量	2796.29
⑫熱回収認定業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量	0

項目	実績値
①排出量	2796.29
②自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0

項目	実績値
②自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
③自ら中間処理した後、再生利用した量	0

④自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑤自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑥自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑦自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑧自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑨自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑩自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑪自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑫自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑬自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑭自ら中間処理した後、再生利用した量	0
⑮自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑯自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑰自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑱自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑲自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑳自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉑自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉒自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉓自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉔自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉕自ら中間処理した後、再生利用した量	0
㉖自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉗自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉘自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉙自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉚自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉛自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉜自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉝自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉞自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉟自ら中間処理した後、再生利用した量	0	㉟自ら中間処理した後、再生利用した量	0
㉟自ら中間処理した後、再生利用した量	0																				

(第2面)

計画の実施状況

## (産業廃棄物の種類: 木くず)

1

(第2面)

## 備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令  
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律  
第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への  
焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。